

## 大和市の2020年 こんなことがありました

### 新型コロナウイルス感染症 市の主な取り組み

#### 次亜塩素酸水を全国に先駆けて無料配布

次亜塩素酸水生成装置を導入。不足していたアルコール消毒液の代替として、次亜塩素酸水を生成し、公共施設などで市内在住者に無料で配布しました。

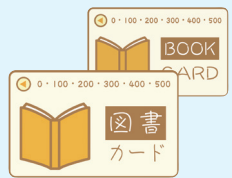
#### 全国初 大和市おもいやりマスク着用条例

感染症の予防や感染拡大防止を目的とし、マスクの着用により周囲への思いやりの心を大切にす



#### 子どもたちに図書カードを配付

自宅で過ごす時間が増えた18歳以下の子どもたちに、読書に親んでもらえるよう、5,000円の図書カードを配付しました。



#### 65歳以上の人へのインフルエンザ予防接種費用を無料に

新型コロナとインフルエンザの同時流行に備え、新型コロナへの感染リスクを減らすため、65歳以上の人へのインフルエンザ予防接種費用を無料にしました。

#### 市立小・中学校でシリウス内図書館の本を貸し出し

学校の臨時休業中に子どもたちがさまざまな本を読めるようにするため、シリウス内図書館の本を市立小・中学校でも借りられるようにしました。



#### ダイヤモンド・プリンセス号へ市立病院のDMATを派遣

ダイヤモンド・プリンセス号への医療支援として、市立病院のDMAT(災害派遣医療チーム)を2月10日から派遣。患者の診療などに従事しました。

#### 学校の臨時休業に伴い放課後児童クラブの受け入れを拡充

臨時休業となった市立小学校の児童の居場所を確保するため、放課後児童クラブ(学童保育)の支援員などを170人から316人に大幅増員し、午前中から開所しました。

#### 80歳以上向けの感染予防のための相談専用ダイヤルを設置

80歳以上の人と家族を対象に、保健師や管理栄養士が電話相談を受け付け。また、感染予防の方法などを分かりやすく記載した手紙を個別送付しました。

#### ちらしを市内全戸に配布。ポスターによる情報発信も

新型コロナウイルスに関する重要なお知らせをちらしにまとめ、4回にわたり市内全戸に配布。市内約250か所の掲示板にはポスターを掲示し、情報発信しました。

#### ひとり親家庭などに市独自の給付金(2万円)を支給。さらに5万円を追加支給する予算案を市議会に上程

児童扶養手当受給者に1世帯2万円を支給しました。さらに、1世帯5万円を追加支給する予算案を市議会12月定例会に上程しました。

#### 大和ウォークスルーPCR検査プレイスを設置

保健所を持たない自治体では、全国で最も早い段階でPCR検査場を設置。医師が必要と判断した人に検査を実施しています。

#### 市内事業者を支援。市独自の給付金を最大50万円支給

県からの「休業や営業時間の短縮などの協力要請」に応じた事業者を対象として、市が独自に50万円または20万円の給付金を支給しました。

#### プレミアム付き商品券を発行。競争率は3倍に

市内の登録店舗で使えるプレミアム付き商品券を発行。定数を超える申し込みがあり、抽選となりました。



#### 市立小・中学校の児童生徒の机にパーテーションを整備

感染拡大防止のため、市立小・中学校の児童生徒の机で使うプラスチック製パーテーションを整備。給食の時間や授業に使用し、飛沫感染リスクを軽減します。

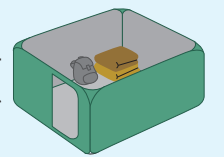


#### 80歳以上の人や妊婦などにマスクを配布

全国的にマスクが不足していた5月、民間企業から寄贈されたマスク20万枚を80歳以上の人、ひとり親家庭等、妊婦、市立小・中学校の児童生徒に順次配布しました。

#### 避難所などでの感染症対策を推進

避難所などでの飛沫感染を防止するため、パーテーションのほか、マスク、消毒液などを購入しました。



#### 市立小・中学校の子どもに関する電話相談を実施

市立小・中学校の臨時休業に伴い、保護者からの子どもに関する電話相談を実施。子どもに関する不安や保護者が就労中の居場所についてなど、さまざまな相談に応じました。

#### 新型コロナへの警戒を呼びかけるちらしを配布

感染拡大前の1月末に、いち早く注意喚起ちらしを市内全駅で配布。多言語版も作成しました。市立小・中学校の児童・生徒と保護者には、学校を通じて個別に配布しました。

#### 市融資制度「中小企業緊急支援資金」に伴う補助金を拡充

新型コロナの影響により経営面で打撃を受けた中小事業者を支援するため、「中小企業緊急支援資金」における信用保証料と利子補給金の補助を拡充しました。

#### 「ちょっと話そう「もしもし電話」」を開設

新型コロナの影響で会話をする機会が少なくなり、誰かに「ちょっとでも話したい、聞いてもらいたい」という人が気軽に話せる専用電話を12月に開設しました。



## 主な施策 など (新型コロナ対策を除く)

### 全国初 大和市歩きスマホの防止に関する条例

全国で初めて、道路・駅前広場・公園などの公共の場での歩きスマホを禁止する条例を施行しました。



### 5年連続で待機児童数がゼロに

市では昨年度、保育所等の定員を252人拡充。今年4月1日時点での待機児童数がゼロとなり、5年連続でゼロを達成しました。



### 「こもりびと」\*への支援を実施

\*市では、いわゆるひきこもりの人を、「こもりびと」と呼称しています。

こもりびとやその家族などの気持ちに寄り添い、専任のコーディネーターが相談に応じました。11月には、NHKで同名のドラマ「こもりびと」が放送されました。

### シリウス累計来館者数1,000万人を突破

今年1月21日、シリウスの累計来館者数が1,000万人を突破。市民の居場所として、多くの人が思い思いの時間を過ごしています。



### 市立小・中学校の児童・生徒に1人1台パソコンを整備

子どもたちがより豊かな教育を受けられるように、ICTの活用を推進。1人1台のパソコン環境を市立中学校は11月に整備完了。市立小学校も今年度内に完了予定です。

### 「認知症灯台」を開設

今年1月、認知症を心配する人や家族にとっての道しるべとなるよう、認知症に関する総合相談窓口「認知症灯台」を保健福祉センター内に開設しました。

### おひとり様などの終活を支援

高齢の一人暮らしの人などの終活の不安を解消するため、葬儀や納骨の生前契約などに関する相談に応じました。



### 振り込め詐欺対策。電話機などの購入費を助成

振り込め詐欺対策のため、録音機能付き電話機などの購入に対する補助金を交付しました。



### 消防団にスタンドパイプ消火資機材を整備

大規模災害時の火災に、より迅速に対応できるように、消防団専用のスタンドパイプ消火資機材を市内17か所に1台ずつ整備しました。



### 産後健診助成・産後ケア事業を開始

産後うつ予防のため、今年4月から産後健診費用を助成するほか、産後の心身のケアや育児のサポートなどを実施しました。



### 鉄道3社と「歩きスマホ防止連携協定」を締結

大和市と、小田急電鉄(株)、相模鉄道(株)、東急電鉄(株)の3社は安心・快適に通行、利用することができる公共空間の確保などを目的に「歩きスマホ防止連携協定」を締結しました。

### ボール遊びもできる公園を増設

公園に防球ネットなどを設置し、ボール遊びもできる公園をさらに15か所整備中(12月9日現在)。



### 家庭用AEDの購入費用助成を開始

心臓に不安のある人がいる家庭が、自宅に備えておくAEDの購入費用の一部助成を開始しました。



### ヤマトン健康ポイント対象者を20歳以上に拡大

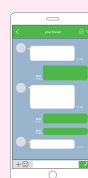
より多くの市民の皆さんに楽しみながら健康づくりに取り組んでもらうため、ヤマトン健康ポイントの対象者を40歳以上から20歳以上の市内在住者に拡大しました。

### 「やまと高齢者あんしんネットワーク」を設立

高齢の人とその家族が安心して暮らせる街の実現を目指し、市と大和警察署、市内介護保険事業者が連携し、犯罪や事故から高齢の人を守ります。

### 「子育て何でも応援メール」LINE、Twitterでも配信

妊娠週数や子どもの月齢に合わせ、メールで育児に関する情報やアドバイスを配信する「子育て何でも応援メール」に、LINEとTwitterが加わりました。



### 「大和市の歴史」を刊行

市域の歴史を総覧した「大和市の歴史」を刊行。市の歴史を原始・古代、中世、近世、近代、現代の5つの時代に分けて紹介。市制施行以降の出来事は記録写真も掲載しています。

### 公園のトイレ付近に防犯カメラを設置

公園のトイレを安心して使えるよう、市内の公園の全ての公衆トイレ付近に、防犯カメラを設置しました。



### ご遺族支援コーナーで手続きを案内

ご遺族支援コンシェルジュが、ご遺族に寄り添いながら死亡に伴う各種手続きを案内しています。



### 県内初 路上喫煙防止条例の改正案を市議会に上程

受動喫煙防止を含めた路上喫煙対策を強化するため、県内で初めて市全域の道路や公園などでの喫煙を禁止する条例改正案を、市議会12月定例会に上程しました。

大和市民  
限定

# ちょっと話そう「もしもし電話」

新型コロナが現れて、人とおしゃべりする時間が少なくなった。  
誰かと話したい、誰かに聞いてもらいたい、あんなこと、こんなこと。

※市に対するご意見、相談などはお受けできません。  
通話料は、利用者の負担になります。

なんでも気軽に、楽しく話してください。  
おひとりさまや、こもりびとのかた など、  
あなたの話を、お聞きます。

## 046-260-3833

月～金曜日 14:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)